



山田 興一 (YAMADA Koichi)

東京大学総長室顧問
科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター 研究顧問

横浜国立大学工学部卒業。
工学博士 (東京大学)。

住友化学主席研究員、東京大学工学部客員教授、東京大学大学院工学系研究科教授、信州大学繊維学部教授、地球環境産業技術研究機構理事、東京大学理事(2005～2009)を経て現職。東大 EMP は創設から携わり、2019 年まで EMP コチェアマンを務めた。また、2009 年科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター副センター長に就任、2019 年より現職。

専門は化学システム工学、地球環境工学であり、無機粉末・材料製造省エネルギープロセスの研究開発、地球温暖化対策技術の設計・評価、燃料電池・太陽電池に関する基礎研究、生態系を利用した温室効果ガス制御システムに関する研究などを進めている。

主な著書に、『地球環境のためのエコマテリアル入門』(編著、オーム社)、『地球環境のための地球工学入門』(共著、オーム社)、『地球環境と材料』(共著、裳華房)、『Handbook of Batteries』(共著、Linden)、『新エネルギー自動車の開発』(監修・共著、シーエムシー出版)、『太陽光発電工学』(共著、日経 BP 社)、『電力危機』(共著、ディスカヴァー・トゥエンティワン)、『日本未来図 2030-20 人の叡智が描くこの国のすがた-』(共著、日経 BP 社)、『新ビジョン 2050-地球温暖化、少子高齢化は克服できる-』(共著、日経 BP 社)、『New Vision 2050』(共著、Springer) などがある。